

大牟田市総合計画審議会(第1回)会議摘録

- ◆ 日 時 平成31年2月4日(水) 18:08~20:20
- ◆ 場 所 大牟田市役所企業局3階会議室
- ◆ 委員出席状況 出席18人、欠席2人
- ◆ 議 事

1 辞令交付

- ・辞令交付
- ・委員自己紹介
- ・市長挨拶

2 開会

- ・事務局紹介
- ・定数の確認

3 会長、副会長選出

互選により下記のとおり会長、副会長が選出された。

会 長 明石 照久 熊本県立大学名誉教授

副会長 糸永 一平 大牟田商工会議所副会頭

明石会長、糸永副会長から挨拶が行われた。

4 議事

(前段) 当会の確認事項。

各種団体の代表として出席している委員のみ代理出席可。

学識経験者、公募委員、会長・副会長は不可。

(1) 大牟田市の総合計画と現況について

事務局より総合計画の意義や役割、本市の主な取組み等について説明。

委員 (P29) 待機児童が0なのは、29歳までの子育て世代が少ないことが関係性しているのか。

事務局 先ほども説明したとおり、少子化の傾向にあるが、幼稚園・保育園の定数も増減があるので、その因果関係の詳細な分析には至っていない。しかしながら、待機児童ゼロは数年続いている状況にあるので、今までの傾向から見て現状は充足していると考えている。

委員 (P35) UIJ ターン就職支援の利用者数はどれくらいか。

事務局 H28年が1人、H29年が2人。

委員 地域企業魅力発信事業の利用企業数はどれくらいか。

事務局 H29年は17社。

委員 奨学金の利用者数はどれくらいか。

事務局 こちらはH30年度からの事業で、今回配布した評価シートには入っていない。登録者は現時点で10~20名程度。詳細は調べて次回回答。

委員 荒尾市への転出が多いが、その理由は何か。
事務局 転出理由の調査を行っていないので把握していないが、予想にとどまる
事務局 事務局長が新興団地ができたことも要因でないかと推察している。
(補足) 荒尾市への転出が多いが、荒尾市からの転入も多い。

委員 (成果指標達成度一覧) H29 年度の実績値は横ばいが多いが、施策の効
事務局 果をどのように考えているのか。
成果指標の実績値については、施策ごとに掲げた事業を実施した結果と
委員 なるのが基本となる。しかし、例えば、行政評価シート (P1-2) の施策
シート「1 編 1 章安心して子どもを産み、育てることのできるまちで」
のように、市民アンケートなどで把握する満足度が指標であるケース
は、掲載している事業を含めて様々な事業をやっていることを知って
いただくことも必要だと考えている。
自分も子育てに係る事業などが、こんなにも多く行われていることを知
らなかった。満足度は下がっているのなら、施策が合っているのかが疑
問。

(2) 第 6 次総合計画の策定方針について

事務局より、第 6 次総合計画の策定方針について説明。

委員 (P3_4. 全体構成 L7) 都市像は目標年次を設定しないとあるが、中長期
事務局 の期間設定は必要ではないか。
都市像や基本目標は長期的視点で見えていくものと考えているが、次期に
ついては、次回以降ご審議いただく予定。

(3) 基礎調査資料について

事務局より以下 3 点説明。

- ① 市民意識調査報告書の見方
- ② 行政評価シート
- ③ 各種計画の一覧

委員 【① 市民意識調査】
事務局 市民意識調査の調査票 (質問項目) は誰がどうやって作っているのか。
Q1~6 は経年変化を見るために従来と同じ設問。Q7 は今年初めての設問
で総合政策課にて考えて新設した。
事務局 (補足) 庁内の各種会議を経て案を決めて実行している。
委員 要望として、価値観の多様化をふまえ、満足度と重要度だけでなく、福
岡県が採用している「幸福実感度」も指標の一つとしてとして検討いた
だきたい。

委員 満足度の平均が 2.82 とあるが、3 以下の指標はほぼ不満なのではない

か。平均ではなく、3以下のものを改善すべきではないか。

会長 評価の基準をどこにおくかとのことであるが、行政評価においてどの自治体も苦勞するのが指標の設定。市の施策が必ずしも因果関係があって一つの結果になるかどうか、市民生活への関わりは市だけでなく、国県、民間企業など様々な関わりが考えられるので、どのような組み立てにするかは難しいところ。

委員 大牟田市外に居住している人へのアンケート調査は考えていないのか。

事務局 市民意識調査は市内居住者が対象だが、シティプロモーション策定時には市外の居住者にもアンケート調査を行った。

委員 (P18)H26年度の調査の「飲料水」に関するものと、H30年度の「安心・安全な水」のものは同じことなのか。

事務局 H30年度から選択肢が変化しているが、結果として市民の水に対する満足度が高い傾向がある。

委員 (P1) アンケート調査の回収数が747票とあるが、母数(当時の調査対象である18歳以上の人口)は何人なのか。

事務局 具体的な数字は現在持ち合わせていないので、次回回答する。

【②行政評価シート・③各種計画一覧】

特になし

(4) 今後のスケジュールについて

事務局より資料に基づき説明。

委員 次回までに年間スケジュールの具体的な日付の確定を希望。

事務局 できるだけ早くお知らせする。

委員 審議会の会場や時間は今後も同じ場所・時間か。

事務局 基本的に、会場は北別館の4階、時間は18～20時を予定。

(5) その他

会長 膨大な資料がある中で、全ての質問を審議会内で回答するのは時間的に厳しい。メールの活用等、委員の意見を吸い上げ、解消する方法をご提示いただきたい。

事務局 本日は第1回ということもあり、資料が膨大になった。疑問点等あれば、総合政策課宛にメールをいただきたい。
また、資料は開催日前にお送りし、事前にお目を通していただきたいと思っている。

以上 (20 : 20) 終了